



令和4年5月13日

各位

トモニホールディングスグループの令和4年3月期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和4年3月期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和4年3月期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）連結業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益が増加しましたが、有価証券利息配当金及び株式等売却益が減少したこと等により、前期比352百万円減少して70,335百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損、国債等債券償却、株式等売却損、株式等償却及び与信関連費用が減少したこと等により、前期比4,991百万円減少して51,203百万円となりました。その結果、経常利益は前期比4,639百万円増加して19,132百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比3,078百万円増加して13,062百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は前期末比1,881億円増加して4兆5,960億円、純資産残高は前期末比26億円増加して2,457億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前期末比1,659億円増加して4兆621億円、貸出金残高は前期末比1,462億円増加して3兆2,299億円、有価証券残高は前期末比284億円増加して7,278億円となりました。

		令和4年3月期	
			前期比
損益	経常収益	70,335百万円	△352百万円
	経常費用	51,203百万円	△4,991百万円
	経常利益	19,132百万円	4,639百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	13,062百万円	3,078百万円
		令和4年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	45,960億円	1,881億円
	純資産	2,457億円	26億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	40,621億円	1,659億円
	貸出金	32,299億円	1,462億円
	有価証券	7,278億円	284億円
	自己資本比率（国内基準）	8.84%	0.02%

(2) 令和5年3月期第2四半期累計期間（令和4年4月1日～令和4年9月30日）及び通期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）連結業績予想

次期（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響等を勘案し、有価証券関係損益及び与信関連費用の計上を保守的に見積もっていること等により、以下の連結業績を予想しております。

① 令和5年3月期第2四半期累計期間

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
令和5年3月期第2四半期累計期間	8,000	5,350

② 令和5年3月期通期

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
令和5年3月期通期	16,250	10,650

## 2. 徳島大正銀行

### (1) 令和4年3月期(令和3年4月1日~令和4年3月31日)単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、役務取引等収益及び国債等債券売却益が増加したこと等により、前期比1,537百万円増加して35,410百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前期比1,405百万円増加して29,656百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比1,094百万円増加して11,221百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したこと等により、前期比1,724百万円増加して10,527百万円となり、当期純利益は、前期比1,293百万円増加して7,348百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前期末比1,208億円増加して2兆2,699億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比1,233億円増加して2兆3,897億円となりました。また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前期末比848億円増加して1兆8,272億円となりました。なお、自己資本比率(国内基準)は8.07%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先企業への資金繰り支援を積極的に行いました。その結果、前期末比7,948百万円増加して32,745百万円、総与信に占める割合は1.76%となりました。

		令和4年3月期	
		前期比	
損益	経常収益	35,410百万円	1,537百万円
	コア業務粗利益	29,656百万円	1,405百万円
	コア業務純益	11,221百万円	1,094百万円
	経常利益	10,527百万円	1,724百万円
	当期純利益	7,348百万円	1,293百万円
	本業利益	6,386百万円	922百万円
	与信関連費用	1,077百万円	△633百万円
		令和4年3月期末	
		前期末比	
主要勘定残高・諸比率	総資産	25,535億円	1,320億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	22,699億円	1,208億円
	総預り資産	23,897億円	1,233億円
	貸出金	18,272億円	848億円
	有価証券	3,922億円	224億円
	自己資本比率(国内基準)	8.07%	0.05%
不良債権	金融再生法開示債権額	32,745百万円	7,948百万円
	総与信に占める割合	1.76%	0.36%

### (2) 令和5年3月期第2四半期累計期間(令和4年4月1日~令和4年9月30日)及び通期(令和4年4月1日~令和5年3月31日)単体業績予想

#### ① 令和5年3月期第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	経常利益	中間純利益
令和5年3月期 第2四半期累計期間	4,600	3,200

#### ② 令和5年3月期通期

(単位:百万円)

	経常利益	当期純利益
令和5年3月期 通	9,500	6,350

### 3. 香川銀行

#### (1) 令和4年3月期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、国債等債券売却益及び株式等売却益が減少したこと等により、前期比2,333百万円減少して27,318百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、役務取引等利益が増加したこと等により、前期比682百万円増加して22,522百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比647百万円増加して7,905百万円となりました。

経常利益は、債券関係損益が増加したこと等により、前期比2,239百万円増加して8,023百万円となり、当期純利益は前期比1,271百万円増加して5,541百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前期末比451億円増加して1兆7,972億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比487億円増加して1兆9,380億円となりました。また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前期末比612億円増加して1兆4,115億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.57%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先企業への資金繰り支援を積極的に行いました。その結果、前期末比2,353百万円減少して25,940百万円、総与信に占める割合は1.79%となりました。

		令和4年3月期	
			前期比
損益	経常収益	27,318百万円	△2,333百万円
	コア業務粗利益	22,522百万円	682百万円
	コア業務純益	7,905百万円	647百万円
	経常利益	8,023百万円	2,239百万円
	当期純利益	5,541百万円	1,271百万円
	本業利益	4,857百万円	1,081百万円
	与信関連費用	601百万円	△169百万円
		令和4年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	20,379億円	556億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	17,972億円	451億円
	総預り資産	19,380億円	487億円
	貸出金	14,115億円	612億円
	有価証券	3,338億円	65億円
	自己資本比率（国内基準）	9.57%	△0.06%
	不良債権	金融再生法開示債権額	25,940百万円
	総与信に占める割合	1.79%	△0.26%

#### (2) 令和5年3月期第2四半期累計期間（令和4年4月1日～令和4年9月30日）及び通期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）単体業績予想

##### ① 令和5年3月期第2四半期累計期間 (単位：百万円)

	経常利益	中間純利益
令和5年3月期 第2四半期累計期間	3,350	2,100

##### ② 令和5年3月期通期 (単位：百万円)

	経常利益	当期純利益
令和5年3月期 通期	6,450	4,100

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部 TEL：087-812-0102  
株式会社徳島大正銀行 企画部 TEL：088-656-1118  
株式会社香川銀行 総合企画部 TEL：087-812-5132